



西町の風

～生き生きのびのび西町っ子～

第 6 号

長崎市立西町小学校
校長 竹市 加津典

○「平和な世界の実現に向けて！」

16日(月)の午前中、講師を招いて被爆体験のお話を聞く会を設けました。今回は、広島にお住まいで、被爆2世の方にお越しいただき、その方の母親とその御家族が体験されたことを話していただきました。お子さんから内容を聞いた方もおられると思います。

先日の新聞には、全国の被爆者の数が10万人を下回ったという記事がありました。事前に講師の方と打合せをする中で、被爆体験の継承が大きな課題の一つになっていることを話されていました。ご自身も病と闘いながら、長崎と広島だけでなく、全国を回って原爆の悲惨さ、恐ろしさ、平和の大切さを伝えておられるとのことでした。

今回子供たちには、80年前の講師の母親(当時10歳)や御家族の体験を通して、次のことを伝えてくださいました。

- ・突然、身近な家族を亡くすことの悲しみ・つらさ(その大きさ)。
- ・その悲しみ・つらさは、いつまで経っても癒えることはないこと。
- ・生き延びた人たちの心にも大きな傷を残したこと。(家族や知り合いを助けられなかった悔しさ等)
- ・放射線の被害は、今でもがんや白血病などで被爆者を苦しめていること。
- ・原爆は、生きたいという人の意志や希望、夢を奪うもの。

「このようなことが、二度とあってはならない！」という講師の思いが、子供たちにもしっかりと伝わったと思います。

最後に、講師の方が子供たちに「皆さんは、直接被爆者の話を聞くことができる最後の世代！」と話されました。最近の世界情勢等を鑑みられて、案じておられることを感じました。



○避難訓練！

先日、雨天で延期していた避難訓練を実施しました。暑さも踏まえ、今回の避難は、教室から校舎



を出るところまでとし、その後すぐに教室に戻って、オンラインでの指導としました。

その中で、火災の場所を知るために放送をしっかりと聞くこと、「お・は・し・も」(押さない・走らない・しゃべらない・もどらない)を守ることを、煙を吸わないようにすること等が大切であることを確認しました。

○来週は教育週間！

6月23日(月)から28日(土)の1週間は、「西町っ子の心を見つめる教育週間」です。特に、28日(土)は、道徳の授業や、学級懇談会、引き渡し訓練を予定しております。お忙しい中ではありますが、できるだけ多くの保護者の皆様に御参加、御協力をいただければと思います。

なお、30日(月)は、通常通りの授業となりますので、お間違いのないよう、よろしくお願いいたします。

